

**Population** 人のうごき (福智町の人口)

●人口 22,695人  
 前月比+4人  
 前年比-349人  
 男性↑10,775人  
 女性↑11,920人  
 転入63人・転出47人  
 出生11人・死亡23人  
 ●世帯 11,193世帯  
 前月比+12世帯  
 前年比+9世帯  
 ※令和元年10月1日現在(住民基本台帳人口)



お亡くなりになったみなさんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。福智町長・福智町議会議長  
 弔電はひかえさせていただきます

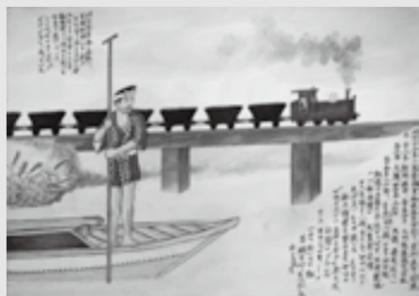
**Tax** おさめて安心 (税の納期限)

- 町県民税 [4期] 12月2日 月
- 国民健康保険税 [5期] 12月2日 月

**Event** テクホー net (近隣の催し)

【香春町】第21回 農業まつり  
 11月16日 日・17日 日 (ライスセンター)  
 地元の特産品や工芸品を販売する出店のほか、ステージや展示も楽しめる2日間。  
 園 香春町役場 産業振興課 ☎32-8408

【田川市】第10回 田川市立病院市民公開講座  
 11月16日 日 13:00~16:30  
 (田川市立病院) 入場無料  
 講演や各種相談、血管年齢測定や体験コーナーなどイベントが盛りだくさん。  
 園 田川市立病院 ☎44-2100  
**山本作兵衛コレクション原画企画展**  
 11月24日 日 まで(石炭・歴史博物館)  
 黒ダイヤと呼ばれた石炭が、当時どのように運ばれてきたのか。山本作兵衛の炭鉱画とともに、石炭の鉄道輸送に迫ります。  
 園 田川市石炭・歴史博物館 ☎44-5745



© Yamamoto Family

Medical health

保健の掲示板

11月16日から12月15日までの保健事業日程

- 11月27日 ⑩【4~5か月児健診】  
 4か月~5か月児を対象(個人通知します)  
 [会場]コスモス保健センター [受付]13:00~14:00
  - 12月10日 ⑩【よちよち相談】  
 身体計測・育児相談・栄養相談などの希望者を対象  
 [会場]コスモス保健センター [受付]13:45~15:30
  - 12月11日 ⑩【7~8か月児健診】  
 7か月~8か月児を対象(個人通知します)  
 [会場]コスモス保健センター [受付]13:00~14:00
  - 12月13日 ⑩【健康相談】  
 健診結果や介護など相談希望者を対象  
 [会場]コスモス保健センター [受付]13:30~15:30
- ゆるーくママ ▶ ママとお子様の気軽な交流の場
- 町内在住の0歳児とそのママが対象。  
 [日程]11月19日 ⑩・21日 ⑩・26日 ⑩・28日 ⑩、  
 12月3日 ⑩・5日 ⑩・10日 ⑩・12日 ⑩  
 [会場]コスモス保健センター [受付]10:00~16:00
  - ⑩ コスモス保健センター ☎28-9500

Vaccination

【第2期麻しん・風しんの予防接種はお済みですか?】  
 年長児はワクチン接種を忘れずに

麻しん(はしか)は、麻しんウイルスによっておこり、感染力が強くて命にかかわる合併症を引き起こすことも多い病気です。風しんは妊娠初期の女性がかかると赤ちゃんへの影響(先天性風疹症候群)が心配な病気です。予防するためには、MRワクチンの接種がとても有効です。早めに予防接種を受けて流行を防ぎましょう。

対象▶ 第2期の接種を受けていない人  
 (平成25年4月2日~平成26年4月1日生まれ)

接種期間▶ 令和2年3月31日まで  
 接種方法▶ 田川市郡の協力医療機関および福岡県定期予防接種広域化実施医療機関で受けることができます。お申込は直接医療機関にお問い合わせください。

⑩ コスモス保健センター ☎28-9500

日常生活から防ぐインフルエンザ

まずは「かからない」、そして「うつさない」

インフルエンザは風邪と異なり、高熱や鼻水、のどの痛み、せき、関節痛などの全身症状があります。強い感染力が特徴で、乳幼児から高齢者まで感染する可能性があります。重症化すると肺炎やインフルエンザ脳症などの合併症を引き起こすこともあります。まずは「かからない」、そして「うつさない」ことが重要なポイント。しっかり対策をして、感染を防ぎましょう。

チェックリスト

- 予防接種を受けていない
- 周囲にかかった人がいる
- 不特定多数の人に接触することが多い
- 最近忙しくて疲れ気味だ
- 睡眠不足が続いている
- 外出後、あまり手を洗わない

項目にあてはまる人は要注意!

◎ 早めの対策が重要! 5つのポイント

POINT 2 2 うがい・手洗い  
 こまめに行い、感染予防

感染原因となるウイルス除去には、うがいと手洗いが有効です。石けんと流水で約30秒間、手の甲指の間手首までしっかり洗いましょう。また、アルコール消毒も有効です。

POINT 1 1 予防接種  
 流行前の早めの準備が重要

予防接種は感染予防に有効で、発症時の重症化も防ぐことができます。ワクチンの効果は接種後、2週間頃から約5か月持続します。

POINT 3 3 マスク着用  
 自分と周囲を守るエチケット

せきやくしゃみで感染を広げないために、マスクをつけましょう。マスクはのどの湿気を保ち、ウイルスの進入も防ぎます。鼻・口・あごを覆うように着用し、毎日取り替えましょう。

POINT 4 4 基礎体力  
 普段の習慣から行う感染予防

十分な睡眠と休養、バランスのよい食事で体の抵抗力を高めましょう。また流行中は人ごみを避け、外出時はマスクを着け、せきをしている人から2m以上離れるようにしましょう。

POINT 5 5 病院を受診  
 もしかして、と思ったら

抗インフルエンザ薬は発症48時間以降は効き目が下がります。流行期に突然高熱や全身倦怠感などの症状が出たら、すぐに医療機関を受診しましょう。高齢者の場合は症状が出にくい場合があるので特に注意が必要です。

